

池田町15歳の全ての生徒に求める姿  
「自ら拓き、共に生きる池田の子」

池田町学びの郷  
保小中15年プラン  
3つのチャレンジ

学校教育目標  
自ら学び、共に考える子

【経営の理念（合言葉）】

「魅力ある学校（ひとりひとりが、たからもの）」

めざす学校像：「今日は楽しかったな。」「来て良かったな。」「明日もまた来たいな。」と思える学校  
めざす教師像：子どもを大切にする教師・授業を大切にする教師・チームワークを大切にする教師

明日が楽しみになる学校 3つの柱

- ・誰もが「学んで最高に楽しい！」と叫びたくなる授業（学びづくり）
- ・誰もが「自分最高！」「自分大好き！」と言える集団（心づくり）
- ・誰もが、集団の中で自分らしく学び、活動することを保証される環境（体制づくり）

地域との連携・協働(CS)

学びづくり

- <学ぶめあてをもち、自ら学ぶ子を育てるために>
- ・協働的な学びを軸としながら、個別最適な学びとの一体化をめざした授業
  - ・子どもたちが自分に合った学び方を選べるコース別学習及び家庭学習
  - ・個別の課題をもってトコトン探究に浸りこむ「探究の時間」の設定

心づくり

- <自己肯定感・自己有用感を高めるために>
- ・「ナッジ理論」を取り入れた教育の実践
  - ・子どもが企画し、運営する行事の支援
  - ・異学年交流（縦割り清掃・池田の時間等）の活性化
  - ・「いいとこみつけ」の積極的活用

インクルーシブな教育の体制づくり

- <全ての子どもの「らしさ」を認め、全ての子どもが「自分らしく」学べる環境づくりのために>
- ・校内教育支援委員会は、子どもの困り感に寄り添い、全ての教師が各自の立場でできる支援を相談・検討、実践に生かす、インクルーシブな教育を推進していく場とする。
  - ・スクリーニングを継続して行い、全職員で情報共有、不登校の未然防止に努める。
  - ・スクールワイド PBS を取り入れ、心理的安全性が担保されたよりの確な支援を心掛ける。

池田町第2次教育大綱

「子どもがまんなか 未来を拓くひとづくり」